

※記事中の肩書等は、取材当時のものです。

「ひたち野広域事務組合」誕生 斎場事業とし尿処理事業、サー ビス持続のため統合へ

3月24日（火）市役所で石岡市・かすみがうら市・小美玉市の3市による、石岡地方斎場組合と湖北環境衛生組合の統合に関する協議書合意調印式が行われました。新たにひたち野広域事務組合が組織され、今まで両組合が担ってきた斎場事業とし尿処理事業が統合されることとなります。市民生活に欠かすことのできないサービスであるため、今回の統合によって経営資源を最適化し効率化を図るだけでなく、次世代へ持続可能な行政サービスを引き継ぐ大きな一歩となりました。



▲【写真左から】宮嶋市長（かすみがうら市）、谷島市長（石岡市）、島田市長（小美玉市）。



▲【写真左から】ベリーファーム結 齋藤哲也夫妻・谷島市長。最近ではジャム作りにも力を入れているとのこと。

就農4年目の快挙！ 「いばらキッスの部」で金賞受 賞

八郷地区で農園を経営されている「ベリーファーム結」の齋藤哲也さんが、1月に県庁で開催されたいちごの生産技術の腕を競う「第14回茨城いちごグランプリ」において「いばらキッスの部 茨城県農林水産部長賞」を受賞されました。新規就農の研修を経て、令和6年に「ベリーファーム結」をオープンさせた齋藤さんは「苗作りから育成まで基本に忠実に行的しても、失敗することはある。そこから学び、次のいちご作りに生かしている」と話してくれました。

自治体として全国初の取り組み 霞台厚生施設組合で家電4品 目の持ち込みを開始

4月1日（水）から霞台クリーンセンターみらい及び中継センターで家電4品目（エアコン、テレビ、冷蔵庫・冷凍庫、洗濯機・衣類乾燥機）の持ち込みが開始となることに先立ち、3月26日（木）に霞台厚生施設組合と一般財団法人家電製品協会が協定を締結しました。利便性の高い家電小売業者用の家電リサイクル券を組合が発行し、家電4品目の受入れ事業を行うことは、自治体として全国初の取り組みとなります。家電リサイクル事業の推進により、住民サービスの向上と循環型社会の形成が期待されます。



▲【写真左から】谷島市長・一般財団法人家電製品協会 川上専務理事。



※記事中の肩書等は、取材当時のものです。

新一年生の防犯意識向上に 常陽銀行が新入学児童へ防犯ブザーを寄贈

3月26日（木）市役所で株式会社常陽銀行から、市内の新入学児童に向けた防犯ブザーの贈呈式が行われました。寄贈された防犯ブザーは計520個で、4月に市内小学校へ入学した児童に配付され、登下校時の防犯対策に役立てられています。防犯ブザーを通して、児童の防犯意識を向上させるとともに、安全に登下校できる取り組みとして、平成17年から継続して寄贈されています。地域の児童を守ることが石岡の未来を守ることに繋がるとの思いが共有されました。



▲【写真左から】株式会社常陽銀行 石岡市役所出張所志田所長・株式会社常陽銀行 石岡支店小幡支店長・谷島市長・岩田教育長。



▲新しい救急車と石岡消防署 愛郷橋出張所の消防職員の皆さん。

より安全な医療現場を目指して 電動ストレッチャー装備の救急車が配車

3月18日（水）石岡消防署 愛郷橋出張所で救急車の配車式が行われました。最新の医療器材が導入された今回の救急車は、電動ストレッチャーも装備されており、患者さんをより安全に負担なく搬送することが可能となるだけでなく、隊員の負担軽減が期待されます。電動ストレッチャーの装備された救急車は石岡市では初めての導入となります。リアガラスには市公式マスコットキャラクターである「ししまる君」もプリントされており、今後はより市民の安心・安全のための救急車として活躍が期待されます。

温泉施設としての魅力度UP！ やさと温泉ゆりの郷が民間施設として生まれ変わります

市民のみならず県内外の多くの人から憩いの場として親しまれてきた「石岡市ふれあい交流施設やさと温泉ゆりの郷」がやさと農業協同組合へ譲渡されました。3月25日（水）に行われた譲渡式には施設の利用者も多くみられ、今後の発展に期待を寄せていました。譲渡先であるやさと農業協同組合は長年指定管理者として運営してきました。今まで培った安定した経営に加えて、これからは民間施設として、自由な発想を活かし、より魅力ある施設づくりに取り組んでいきます。



▲【写真左から】谷島市長・施設利用者の皆さん・やさと農業協同組合 神生代表理事組合長。